

会社のビタミン・ん〜なるほど通信

平成30年2月号VOL.96

二十四節気は「立春」から始まります。立春の次は「雨水（うすい）」。

雪が雨に変わり草木が芽吹き始める時季で、だんだんと春を迎える様子を表した暦です。今年でいえば2月4日～19日あたり。ほんの2週間ほどでも季節は淡々とめぐっていきます。小さなことに右往左往しているのは人間だけかもしれませんね。

今を生きる 先人の言葉

捨てることにある
革新の鍵は

オーストリア生まれの経営学者である
ピーター・ドラッカーの言葉。古いもの
を捨て去り、絶えず新しいものを取り
入れなければこの先、衰退するばかり
だろう。

偉大なる日本の100人に学ぶ 人の心を魅了する生き方。

【知恵と機転の実務家「石田三成」】

豊臣秀吉を支え、関ヶ原の戦いでは徳川家康に真正面から対峙した石田三成は1560年、現在の滋賀県長浜市で生まれました。父親に似て勉強家であり、3歳から寺で学問修行を始めます。今も知られる「三献の茶」のエピソードをきっかけに秀吉に力量を見いだされ、側仕えとして召し抱えられたのが14歳頃といわれています。その後の三成は、有能なる事務官としての才能を発揮し、秀吉の側近として活躍。秀吉政権下、経済基盤を固めるための太閤検地と治安を維持するための刀狩りは、三成の具申によって行われたともいわれています。そんな三成の大きな転機となったのが、秀吉の死でした。主君・秀吉のため、私欲を捨てて滅私奉公していた三成は、秀吉の遺志を無視して独断専行を始めた徳川家康に反発、関ヶ原の戦いへと突入したのです。関ヶ原の戦いに敗れたのち、三成の居城・佐和山城に入った東軍の兵たちは、その城内のあまりの質素さに驚いたといいます。金銭欲がなかった三成ですが、人材集めには貪欲でした。禄高（ろくだか）がわずか4万石だったときに名参謀となる島左近を2万石で招くなど、優秀な家臣を召し抱えるためには厚待遇を惜しみませんでした。強い組織を作るため、私腹を肥やすことはせず人材に投資する。生きたお金の使い方を心得ていたリーダーは40歳でその生涯を終えました。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【スマートスピーカー】

人の音声認識する「AIアシスタント」が搭載されたスピーカーのこと。スピーカーに向かって話しかけると、インターネット経由でAIアシスタントがその内容を解析して応答する。指での操作が必要なスマホやパソコンと異なり音声で操作できる。現在できることは天気予報の確認、音楽の再生やタイマーのセット、調べものなど。対応する照明やテレビではオン・オフの操作も可能で今後、活用の幅が広がることが期待される。

365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【こぶしが咲けば春が来る】

早春の頃、ほかの木に先駆けて白い花をこずえいっぱい咲かせるこぶし。直径10cm程の大きな花は、新葉より早く開花します。「こぶし咲く、あの丘、北国の、ああ北国の春」。千昌夫さんの『北国の春』の歌詞で



もおなじみの花です。東北地方では、こぶしの花が咲き出すともうすぐ春がやって来ます。寒い冬を乗り越えてきた北国の人々は、こぶしの花が咲く日を今か今かと待ち望んでいます。

昔はこぶしの花の開花時期から農作業のタイミングを判断したり、花の向きから豊作かどうかを占ったりしたそうです。そのためこぶしは「田打ち桜」「田植え桜」「種まき桜」などとも呼ばれています。

昔の人は季節の変化（自然現象）から農作業の時期を判断していました。植物がそれぞれの特性に適した季節に開花することを体験的に知っていたのでしょう。子孫を残すために不可欠な植物の知恵が、人間の生活の知恵にもなっていたのです。

多くの植物がそれぞれ決まった時期に花を咲かせるのは、昼と夜の長さから季節を認識して反応する「光周性」という現象によるものだそうです。植物の光周性はきわめて繊細で、明るい時間と暗い時間の差が30分程度あれば敏感に反応するのだとか。夜間でも温室内に照明をつけて日長を調節すると植物は季節を勘違いします。季節外れの花や野菜が店頭で並ぶのは植物の光周性を利用した人間の知恵であり、見方を変えれば人間の欲でもあります。



その昔、自然と人間は今よりも良い関係でした。私たちの祖先は自然を尊重し、敬意を払い、恵みに感謝しながら自然の知恵をお借りしていたのでしょう。春が近づけば自然とこぶしの花が咲くように、何事にもそれに相応しい時期があるものです。真夏にこぶしを咲かせようとすればしっぺ返しをくらうかもしれません。欲も行き過ぎれば商機を逸してしまいます。何事にも焦ることなく、知恵で商機を見出したいものですね。

トレンドを斬る!

身も心も温まる鍋料理は寒い冬の定番ですが、いつもの鍋とは一線を画す、見た目も華やかな「フルーツ鍋」が注目を浴びて

います。彩り豊かなトロピカルフルーツやベリー類を肉や魚介と合わせると爽やかさや酸味がアクセントとなって味わい深くなり、豊富なビタミンCやクエン酸で美容効果も期待できます。温かい鍋は体を冷やす心配もありません。インスタ映えするカラフルなビジュアルは圧倒的に女性に大人気で、いつもの鍋が斬新で究極の料理と化しています。



トナリの本棚



【文房具図鑑】

小学校6年生の著者が夏休みの自由研究で作った手書きの文房具図鑑です。ペンは先端の空気穴まで丁寧に描かれ「とめ・はね・はらいも完ペキにできる」などとコメントが書いてあります。文房具への愛があふれ自然と笑顔になる一冊です。

元氣と氣づきを提供する

豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所***

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>

mail：info@satousigeru.jp